

今週の 花緑

H30. 7. 13現在



① スイレン (スイレン科)

場所: 花の美術館、百華園

比較的耐寒性の強いスイレンで、花は朝明るくなると開き、夕方になると閉じるため、午前中が見頃です。



② アメリカフヨウ (アオイ科)

場所: 北ロータリー

北アメリカ原産で、大輪のハイビスカスのような花をつけます。咲いた日にしぼんでしまう1日花です。



③ タイタンビカス (アオイ科)

場所: 南主園路、体験学習館前

アメリカフヨウとモミジアオイを交配させて作られました。草丈が高く、大きな花が特徴です。



④ ハリウツギ (アジサイ科)

場所: 国際庭園(イタリア前)

古くから幹から採れる樹液を、和紙をすく際に糊として利用されてきました。ウツギの仲間ではなくアジサイの仲間です。



⑤ ハス (ハス科)

場所: 花の美術館、百華園

夏にピンク色の花を咲かせます。スイレンよりも高い位置に葉や花を出しています。



⑥ ハマユウ (ヒガンバナ科)

場所: 国際庭園(インドネシア)

温暖な地方の日当たりの良い海浜に自生する多年草です。花の様子が木綿(ゆふ)を垂らしたようであることが名前の由来です。



⑦ ユーコミス (ユリ科)

場所: 南主園路

長く伸びる花茎のまわりにたくさんの小花を密につけます。「パイナップルリリー」とも呼ばれています。



©のたね